

継続検討品目群(工法)

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成30年度版

提案品目名		品目概要	分類	検討結果	
個別品目名	統合品目名			理由等	
ポリシールLC	低炭素型半たわみ性舗装工法	プレミックス材およびセメントミルク製造時のCO2排出量を大幅に削減した半たわみ性舗装	継続検討ES(C)	<p>○本品目については、統合品目「低炭素型半たわみ性舗装工法」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「低炭素セメント」の環境負荷低減効果および再リサイクル性の確認が必要 ・ライフサイクルを通じたCO2排出量についての確認が必要 <p>②特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>	
循環式エコクリーンプラスト工法	プラスト工法	鋼橋等の鋼構造物の旧塗膜を除去するためのプラスト工法において、従来使用していた非金属系研削材を金属系研削材に変更し、循環再利用する工法	継続検討EQ(C)	<p>○本品目については、統合品目「循環式プラスト工法」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研削材と塗膜くずの分離状況、研削材の使用可能回数の確認が必要 <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研削材の鋼材表面仕上がり具合への影響について確認が必要 <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>	